



クラス全員を抱っこ。素直に身体を寄せてくるのに驚きを感じていました。(2歳児 ペんぎん組)



水遊びの苦手な子どもに、そっと声がけをして教えてくれています。(3歳児 うさぎ組)



お母さんの子ども時代の大切な絵本を持参しての読み聞かせに、子どもたちも真剣。

(4歳児 ぱんだ組)

タイムテーブル

- 8:50 親子で登園・持ち物の片付け
- 9:00 子どもたちに紹介・一緒に遊ぶ
クラスの活動補助
- 11:10 給食配膳手伝い・試食・片付け
午睡の手伝い・着替え
紙芝居・絵本の読み聞かせ
- 13:00 午睡(寝かしつけ)
担任と個人面談
- 15:00 起床・おやつ・午後の活動の補助
- 16:00 親子で降園



参加した保護者の感想

- 一人目で、自分がやってきた育児がよかったのか不安でした。1日という短時間でしたが、“ご飯の前に手を洗いに行く”“ちゃんと椅子に座ってご飯を食べる”もうこの時に目が点。家ではハイチェアの椅子に全く座らず、立って食べるのが当たり前でしたので、座って食べる姿にびっくり。家に帰り、パパに話をして普通の椅子を買うと、座ってご飯を食べるようになり、こぼすことが少なくなって掃除の時間もなくなりました。
- プール遊びや離乳食の食べさせ方など、見ての体験は楽しく学べました。連携のとれたチームワークでいろいろなことがスムーズにできていて、家族みんなで子育てをする時の参考になりました。“百聞は一見に如かず”といった感じで貴重な一日体験だったと思います。



お迎えした保育者・園の感想

- 生活を共にしなければ、お互いに見えなかったことがたくさんあったと感じます。また、ともに過ごしたことで家庭での子どもへのかかわり方が見え、さり気なく具体的にアドバイスできたことはよかったです。休憩中1時間のゆっくりのお話、子育て以外の悩みや得意なこと・趣味のお話もできて親睦が深まりました。
- 多くの保護者の方々から感謝の気持ちが述べられていましたが、その一方で、普段の子どもの姿に「そんなことも頑張っているんですね。」「家では想像もできません。」といった声も多く聞かれ、保育園の理念・保育のねらい・思い・子どもたちの様子を家庭に知らせ、理解するための説明をしっかりとする必要があると反省をしました。